

かみ

議会だより

平成28年
9月定例会
第47号



ボクたちも
まけないぞ!!

(兎塚学園大運動会)

— CONTENTS —

■ 地域おこし協力隊座談会	2～3
■ 平成27年度決算認定	4～5
■ 農業委員が町長任命に変更	6
■ 「命の道」への意見書可決	8
■ 町政を問う（12人が一般質問）	9～14
■ この人ここにあり	16

いうものなのか、仕事も含めてどう生きるかを自分で実践し、これをテーマにして活動しています。私は生れた時から都会しか知りません。田舎は不便だとか、暮らしにくいと思われがちですが、実際自分が住んでみると時間をかけて丁寧に暮らしている、素敵で豊かな場所だと感じました。

都会から来る人は、そういう暮らしを望んで移住して来るのではと思います。

私は、おじいちゃんやおばあちゃんが自然を活かして暮らしてきた生き



紙漉き風景

委員長 それでは北田さんお願いします。

北田さん 私は、木の駅プロジェクト森のステーション美方事務局で活動しています。

取組は「軽トラとチェーンソーで晩酌を」を



間伐材を地域通貨に変えます

方や暮らし方を紙漉きを通じて実践しています。現在は、長須地域にとどまらず、香美町全域で活動を広げています。

私の地域おこし協力隊の活動は今年で終わりますが、終わった後もこの地に残り様々な活動を展開したいと考えています。

一言葉に取り組んでいます。対象は「おじ様？」（笑）これからは、薪づくりをしたり、丸太づくりを行いインターネットを通じて販売を考えています。木を生かした様々な企画があるのですが、面白い企画としては、都会の山ガールを集め、林業従事者の方とお見合いをさせるという婚活イベントの企画を考えています。

今までやったことのない様々な企画に取り組んでいきたいです。

委員長 委員のみなさん質問はありますか。

委員 皆さんはなぜ香美町を選んだのですか。

安田さん 教育に関わりたいと思っていました。そんな時、香美町で教育コーディネーターの募集を知りました。それまで香美町の事は知りませんでした。母はカニを食べに来たことがあったそうです。

本多さん 小さいころスキーに来た時、遠い所だなと思っていました。

委員長 それでは、安田さんから活動紹介をお願いします。

安田さん 私は、主に高校生が地域に出て学びを深めていくための教育活動の推進に携わっています。普段は高校にいて、地域との橋渡し役や、企画実践の支援役として活動しています。一人で活動するというよりも、学校の先生方や行政、地域住民の方々と連携を取りながら、ともに地域の子どもの学びを支援できることにやりがいを感じながら活動しています。

現在、地元の中学生が都市部の高校に進学したまま、ふるさとに戻ってこないというような現象が日本の各地で見られています。こうした流れのままだと、この香美町も加速度的に過疎化が進むこととなるでしょう。そうなってしまう前に、地域の若者が地域社会に関わる機会を設け、そこで多様な大人と出合い、関わりながら学ぶことが必要なのだと感じています。

集落サポーター になった時に、香美町長須で紙漉きをやるのが決まっていた。（笑）これからは、薪づくりをしたり、丸太づくりを行いインターネットを通じて販売を考えています。木を生かした様々な企画があるのですが、面白い企画としては、都会の山ガールを集め、林業従事者の方とお見合いをさせるという婚活イベントの企画を考えています。

今までやったことのない様々な企画に取り組んでいきたいです。

委員長 委員のみなさん質問はありますか。

委員 皆さんはなぜ香美町を選んだのですか。

安田さん 教育に関わりたいと思っていました。そんな時、香美町で教育コーディネーターの募集を知りました。それまで香美町の事は知りませんでした。母はカニを食べに来たことがあったそうです。

本多さん 小さいころスキーに来た時、遠い所だなと思っていました。

本多さん こまだったことは、他の地域の協力隊と比べると活動費が満額で足りないのではと感じることがあります。

活動経費等の制限が厳しい所が、少し困ったぐらいでしょうか。

北田さん 苦労はないです。協力隊が決まってから時間がなく、身一つでここに来ました。住む家も皆さんが探してくれました。いまでも、色々な方の支援でやっています。

委員 安田さんはお酒が好きだと聞きましたが。

安田さん 但馬に来る前に、どんな地酒があるか調べました。香美町のお酒もおいしく頂いています。

委員 香美町はどのような町でしょうか。私たちの知らない良さを教えてください。

安田さん 交流人口を増やしていくために、県内県外から但馬の高校に進学してくる仕組みが出来ると面白いですね。

本多さん 香美町のこと



座談会のようす

を知らない人が多いと思います。都市部の人がどのように香美町の情報をつかんでいるのかを知ることが重要です。

香美町に来てみたいと言う人はいますが、遊びに來たいと言う人がほとんどです。遊びから町に入っていたく窓口や仕組みが必要だと思っています。

委員長 皆さんからは、地域おこし協力隊が終了した後もこの町に住みたいと言うご発言もありました。また、専門的な窓口が必要だと言うご意見もありました。

本日はありがとうございました。



やすだ まさと
安田 真人 32歳 神戸生れ

香美町地域おこし協力隊になり今年度で3年目を迎えました。現在は町内高校での地域に密着した教育活動の推進支援が主な活動です。他にも「香美町にほんご広場マルカル」で日本語学習支援を住民の方や行政と協働しながら、地域づくりに関わっています。



ほんだ あいか
本多 秋香 39歳 神戸生れ

私は、神戸生まれ神戸育ちです。今年で3年目です。最初は、兵庫県集落サポート事業の一環として村岡区長須で活動をしていました。内容は、長須の紙漉き事業をサポートすることでした。その後、地域おこし協力隊になっても引き続き紙漉きを中心として活動しています。



きただ あかね
北田 茜 24歳 大阪生れ

今年の4月から新しく香美町地域おこし協力隊として活動しています。大学の時に、ゼミの学習の中で小代に訪れてからファンになり、住みたいなと思いました。香美町の募集があったので、香美町地域おこし協力隊になりました。活動内容は、木の駅プロジェクトの森のステーション美方事務局を担当しております。

地域おこし協力隊

産業建設文教常任委員会と地域おこし協力隊（3名）との座談会を紹介

す。若者が地域と直面し、地域の良さや地域が抱える課題について学ぶ事はこれから自分自身が地域社会とどう関わりながら生きて行くかを考える機会につながると思っています。そういう意味で児童生徒にとつて地域での学習は、主権者教育であり、キャリア教育でもあり、課題解決型の学習にも繋がっていくものとして捉えることができ、今後ますます学校と地域が協働して次世代の育てる教育に取り組んで行くことが求められていくでしょう。

また香美町には地域で子どもを育てようとする力が残っているように感じます。これは目に見えないけれど、大切にしたい地域資源の一つじゃないでしょうか。例えば、これまで高校生が地域に出て活動することに対して、地域の多くの方から応援していただける光景が多々ありましたし、登校する児童生徒と地域の住民の方々が、あいさつ

を交わすのを日常的に見ることが出来るのは、地域の子どもは地域でも育てるという意識の表れとも思えるのです。子どもらが地域に出て、地域に貢献した際には、ちゃんと大人が承認してくれる。これが子どもらの自己肯定感を高めてくれます。こうした地域の特性は次世代に引き継ぐべき宝物ではないでしょうか。



村岡高校生の活動のようす

委員長 本多秋香さんお願いします。

本多さん 私は、紙漉きだけではなく自然豊かな田舎の暮らし方とはどう

平成27年度決算認定

財政調整基金
・減債基金

町の貯金は

38億7544万円に!!

実質公債費比率 11.3% とさらに

好転!!

9月定例会の決算特別委員会において一般会計及び7特別会計の審査を行い、定例会最終日に8議案いずれも「原案認定」の委員会審査報告があり、採決の結果、一般会計、特別会計とも認定されました。また3企業会計決算も認定されました。

一般会計 歳入総額152億1450万円 歳出総額148億2308万円 差引残額は3億9143万円でした。
特別会計 歳入総額 56億8507万円 歳出総額 56億4988万円 差引残額は 3519万円でした。

平成27年度 主な使いみち

まちづくりの担い手と組織づくり……………601万円
地域コミュニティの活性化……………5242万円
人権文化の創造……………607万円
都市との連携・交流の推進……………4314万円

学校耐震化の推進……………9億9964万円
生涯学習の充実……………5618万円
スポーツの推進……………3500万円
芸術・文化活動の振興……………2219万円

保健・医療の推進……………7億6575万円
地域福祉の充実……………1億 252万円
児童福祉・子育て支援の推進……………6億9895万円
高齢者福祉の充実……………8億1457万円
障害者福祉の充実……………4億3750万円
健康づくりの推進……………4579万円
高齢者の生きがいづくりの推進……………2610万円

担い手が育つ農業の振興……………1億9238万円
日本一の但馬牛ブランドの確立……………1255万円
公益的機能の高い林業の振興……………5684万円
活力にあふれた水産業づくり……………5492万円
商工業・地場産業等の振興……………1億1882万円
観光関連産業の振興……………2億8222万円
雇用対策の推進……………888万円

道路網の整備……………1億4489万円
公共交通サービスの充実……………6196万円
情報・通信体系の整備……………2億9371万円

生活関連施設の整備……………1億7172万円
上・下水道環境の整備……………9億7084万円
衛生環境の充実と美化運動の推進……………10億7861万円
消防防災の推進……………6億6309万円

自然公園等の保全と活用……………872万円
自然環境の保全……………733万円

※差引残額は四捨五入の関係で合わないことがあります。

総務課

問 防犯灯LED化補助の内訳は

答 51集落、362基、補助金総額243万3000円でした。

企画課

問 総合戦略の推進とPDCAサイクルをどう回すのか

答 取り組み内容に応じ、各所管課で推進し、PDCAについては総合計画審議会を検証機関として、毎年、評価・検証します。

生涯学習課

問 公民館使用料と使用団体に対する減免規定はどうなっているか

答 全額減免は町・学校・町事業と関連団体、8割減免は、町内の公共的団体及びその構成団体。本来の目的に使用する場合、対象外は個人・個人的組織・町外利用者です。なお対象外の町内利用者でも24回越えた場合は5割減免になります。

建設課

問 各自治区からの建設課に係る要望の達成度は

答 要望件数108件、事業化件数37件で達成率34%でした。十分とは言えませんが、必要性・緊急性、費用対効果を勘案し、改良的工事は年度計画に基づき事業化を図ります。

教育総務課

問 高校の下宿費補助の推移と上限をどの程度まで考えているか

答 平成27年度の対象者は、香住高校6名、村岡高校23名となっています。現時点で将来の入学予想は困難ですが、必要な補助だと考えています。上限については現時点では定めていません。

福祉課

問 出産祝福事業は少子化対策の一助としての効果はあるのか

答 少子化対策ではありません。出生に対し祝意を表している事業です。

観光商工課

問 ゴンドラリフト町の未収金の回収状況は

答 過年度ゴンドラリフト管理費実費弁償受入金は、おじろ観光協同組合に未払い金が残っており、未払い金の精算を優先したため町への納付はありませんでした。今後も粘り強く交渉します。

農林水産課

問 有害鳥獣の捕獲数と狩猟免許の新規取得者は

答 ニホンジカ115頭、イノシシ622頭、サル2頭です。狩猟免許取得者はわな猟免許4名第1種猟銃免許1名です。

一般会計

反対討論

谷口 眞治議員

財政危機を脱しているのに町の財政優先路線を踏襲。公民館使用料減免適用のバラツキ。敬老会補助金のカット。災害時要援護者支援事業を社協に肩代わりさせ、財政支

特別会計決算状況

区 分	歳入総額	歳出総額	差引残額
国民健康保険事業 (事業勘定+各診療施設)	30億8600万円	30億7668万円	932万円
後期高齢者医療保険事業	2億7532万円	2億7530万円	2万円
介護保険事業	22億3312万円	22億 825万円	2487万円
財 産 区	102万円	51万円	50万円
町立地方卸売市場事業	186万円	186万円	0
国民宿舎事業	5260万円	5260万円	0
矢田川憩いの村事業	3515万円	3468万円	47万円
合 計	56億8507万円	56億4988万円	3519万円

後期高齢者医療保険料の徴収事務において、保険料滞納の発生と短期証の発行は、年金引き下げと高い保険料、医療費の負担増など厳しい高齢者の生活を強いられている証明。高齢者いじめの制度であるので本決算認定に反対する。

介護保険特別会計

反対討論

谷口 眞治議員

第6期、27年から29年計画の介護保険料の引き上げ、要支援者1・2の訪問介護と通所介護を介護保険給付から町主体の地域支援事業に移し、所得160万以上を対象に利用料を引き上げ、家事援助サービス事業をシルバー人材センターに委託しているが、人材不足やケアマネジメント力の確保が問題であり、新しい総合事業による介護サービスの低下が懸念される。特養入所待機者は多数おり、解消に向けての対応が必要。よって認定に反対する。

後期高齢者医療保険事業特別会計決算

反対討論

谷口 眞治議員

平成27年度香美町一般会計は予算特別委員会です。詳細に審議し認めたものであり、行政は住民生活の安定、住民福祉の進展に英知を働かせ執行してきたと確信しており、目標と成果に多少の乖離が生じたとしても、大きなミス、過誤を犯していない限り認定すべきものと考えてる。

賛成討論

上田 勝幸議員

援なし。乳幼児・子ども医療費助成事業に所得制限を適用。あまりにも少ない出産祝福金。税保険料の徴収強化と社会保障の給付減を押しつけるマインバー制度開始。多くの問題を抱えたまま推進した北但ゴミ処理施設事業。豊岡病院に集約する医療政策。赤字補填ありきの但馬空港利用促進事業。いまだに人権教育特別教室の推進。以上から決算認定に反対する。

農業委員が町長任命に変わります

農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、農業委員会委員の選出は、町長の任命に変わり、定数を14名に削減します。また、新たに農地利用最適化推進委員（定数10名）を設置し、農地等の利用の最適化の推進に熱意と識見を有する者のうちから農業委員会が委嘱します。

1、香美町農業委員会の委員及び香美町農地利用最適化推進委員の定数及び報酬

- ① 農業委員の選出を選挙から町長任命に変更
- ② 農業委員の定数24人を14人に変更
- ③ 農地利用最適化推進委員の定数10人新設
- ④ 農業委員報酬の月額1万6500円、農地利用最適化推進委員報酬月額1万3500円

質疑

問 定数の過半数以上の認定農業者は、香美町は可能か。

答 認定農業者38名のうち耕種農家は13名で、4分の1の例外規定により可能です。

問 農地面積100ha当たり1人の農地利用最適

化推進委員の定数はどうするか。

答 農地面積、小学校区など活動区域を勘案して農業委員会が決定します。

反対討論 谷口 眞治議員

農業者の代表機関とする農業委員会の性格を消し去り、制度の根幹を变质させる改正には反対。

反対討論 山本 賢司議員

独立した行政委員会の委員を町長の下部組織の委員会の委員とすることが、町の農業振興、農地利用最適化の推進につながるとは考えられない。

賛成多数で原案可決

2、香美町税条例等の一部改正

- ① 町民税のスイッチOTC薬の医療費控除

② 個人町民税の課税の特例（日本と台湾との外国居住者等所得相互免除法改正）

③ 法人町民税法人割の税率引き下げの改正

④ 固定資産税にわがまち特例の導入

⑤ 省エネ改修の住宅の固定資産税軽減措置の要件見直し

⑥ 軽自動車税のグリーン化特例の延長及び環境性能割の創設

質疑

問 スイッチOTC薬の医療費控除とは

答 医者にかからず、市販薬を自分で買って自分

の健康は自分で守る・自己責任により医療費を抑えることがねらいです。

※スイッチOTC薬とは、これまでは医師の判断でしか使用できなかった医薬品を薬局で買えるようにしたものです。

問 町民税の特定適用の分離課税のねらいは

答 台湾と日本の租税取引協定による企業間の二重課税の解消です。

問 町民税法人割3・7%減額の香美町の影響は

答 平成27年度決算ベースで980万円減収です。平成29年度適用分は180万円減収、平成30年度適用分は800万円減収



農業委員会活動（農地パトロール）

です。

問 わがまち特例の津波対策の償却資産の特例は地区などが対象か。

答 個人、企業の償却資産が対象で、地区や団体は対象ではありません。

反対討論 山本 賢司議員

国が法律を変えたので条例を改正することが町民にとって意味がないことが質疑で明らかになったので、反対する。

賛成多数で原案可決

3、香美町国民健康保険条例の一部改正

個人町民税の特例適用利子等の分離課税分を国民健康保険税の所得割額等に含める

質疑

問 税は総合課税が原則だが、分離課税とは。

答 特例による分離課税で外にある所得分を総合所得金額に含めて国民健康保険税の応能分に充てるためのものです。

賛成多数で原案可決

契約

余部鉄橋「空の駅」エレベーター新設工事の請負
村岡中学校校舎大規模改修工事の請負変更
ラジオ難聴解消対策業務の委託
購入契約2件
小型動力ポンプ軽積載車・町民バス車両の購入契約

全員賛成で可決！

いては、年一回専門業者による清掃を行います。

問 工期中の閉鎖及び周知と完成後の運用は。

答 本体の立ち上げから完成まで閉鎖し、あらゆる機関やメディア等を活用して周知を図ります。運用は、地元の振興会と協議検討をいたします。

村岡中学校校舎大規模改修工事請負変更

質疑

問 変更理由が分かりづらい。分電盤の配線が平

成元年の竣工図と異なり、ずさんだ。十分検証してから上程すべきでは。

答 文章表現の不備や説明不足をお詫びし、今後このようなことがないようにします。

ラジオ難聴解消対策業務

質疑

問 町全域のカバー率を100%にすべきでは。

答 11箇所の送信所を設け90%になりますが、解消に向け更に努力します。

<p>■余部鉄橋「空の駅」エレベーター新設工事請負契約 契約の金額：金594,000,000円 契約の相手方：香美町村岡区鹿田106番地の1 株本・西山特別共同企業体 代表者 株本建設工業 株式会社 香美営業所 構成員 株式会社 西山工務店</p>	<p>■村岡中学校校舎大規模改修工事の請負変更契約 契約の相手方：香美町村岡区鹿田106番地の1 株本・西山特別共同企業体 代表者 株本建設工業 株式会社 香美営業所 構成員 株式会社 アイテック西岡</p>
<p>■ラジオ難聴解消対策業務の委託契約 契約の金額：金135,000,000円 契約の相手方：大阪市中央区常磐町1丁目3番8号 株式会社 エヌエイチケイアイテック関西支社</p>	<p>■小型動力ポンプ軽積載車（5台）の購入契約 契約の金額：金17,496,000円 契約の相手方：鳥取県鳥取市古海356番地1 株式会社 吉谷機械製作所</p>
<p>■町民バス車両（2台）の購入契約 契約の金額：金11,399,216円 契約の相手方：香美町香住区若松581番地の1 株式会社 伊藤梅商店</p>	

契約内容



空き家バンク登録物件（村岡区相岡）

補正予算

移住定住に向けホームページ作成!!
香住小グランド砂ぼこり対策スプリンクラー設置!!

平成28年度一般会計補正予算（第2号）6306万4000円、水道事業企業会計補正予算（第2号）、全員賛成で可決されました。

移住定住対策費726万3000円

質疑

問 ①移住定住対策ホームページ作成②委託料、調査委託料、③映像制作業務委託料の内訳は

答 ①ただ単に、空き家バンク制度に特化したサイトだけでなく、町の暮らしの紹介等すべて網羅した香美町総合サイトが

載ったホームページを作成します。

②空き家管理システム利用ができるようデータベース化し、さらには、物件を地図上に落とし込んでいきたいと考えています。

③移住定住希望者に町の魅力をアピールするために、すでに移住してきた方々に動画の作成をして頂きます。

小学校施設整備費1305万円

質疑

問 スプリンクラー以外の工法は考えられなかったのか、また、タイプ、安全面はどうか

答 砂防フェンス、芝生、塩化カルシウム等での土壌変更、表面をゴム製にすることなど検討しまし



香住小学校グランド

北近畿豊岡自動車道
山陰近畿自動車道

「命の道」への意見書可決

北近畿豊岡自動車道と
山陰近畿自動車道の早
期接続整備を求める意
見書の提出について

提出者
産業建設文教常任委員会
委員長 西川 誠一

意見書の趣旨

「北近畿豊岡自動車道」「山陰近畿自動車道」の整備が進められる中、「山陰近畿自動車道」佐津ICから豊岡北ICまでは全くの未事業化区間であり、「北近畿豊岡自動車」との接続整備計画も示されていない。

このような中、接続点が豊岡市城崎になる可能性もあり、町民にとって地域医療基盤である豊岡病院への「命の道」、経済の活性化のための「大交流の道」の役割を果たす「山陰近畿自動車道」佐津ICから豊岡北ICまでの適切な整備計画の決定と早期完成を求める。

全員賛成で可決

若者も高齢者も安心
できる年金制度の
実現を求める請願書

請願者
全日本年金者組合但馬支部 支部長 中島 健
紹介議員 谷口 眞治

請願の趣旨

消費税増税、物価上昇など年金の実質低下で憲法に保障された生存権を脅かされていることから次の事項を求める。
①年金支給額を引き上げること。
②年金の隔月支給を国際水準並みに毎月支給に改めること。
③年金の支給開始年齢をこれ以上引き上げないこと。

反対討論 上田 勝幸議員

請願の趣旨は理解できるが、年金支給引き上げの財源をどこで捻出するか、その点が不明確である。国の借金、毎年35兆円強、増え続けている。この借金、だれが責任を持ち払うのか。つけは

将来にわたって続く。
この点だけでも請願に
軽々に賛成できない。

賛成討論 谷口 眞治議員

年金が目減りする現状は、受給者の生活困窮を招くだけだ。
年金受給者が老後を安心・安全に暮らすには3項目の実現が不可欠である。そして、その実現は町財政にも少なからず寄与すると信じる。

以上の観点から請願を採択すべきと思う。

賛成討論 山本 賢司議員

企業が海外へ進出するのは、海外の法人税が安いからではない。需要があるからにすぎない。国内の需要を増やす政策を打てばよい。請願は憲法で保障された当然の権利要求にすぎない。
請願を採択すべき。

賛成少数で不採択

人 事

人権擁護委員

次の方々を人権擁護委員として法務大臣に推薦することに同意しました。



香住区余部1774番地の2

たけうち よしあき
竹内 義昭さん

(任期：平成29年1月1日から3年間)



村岡区村岡717番地の1

おおた しずこ
太田 しず子さん

(任期：平成29年1月1日から3年間)

町政を問う

9月定例会での一般質問は、9月12日と13日に12人の議員が町政全般について質問を行いました。

質問と答弁の要旨は次のとおりです。



もっと子どもがふえんかなあ

地方の課題は一言で人口減少問題だとして過言でない。国が地方支援策



見塚 修 議員

財調基金32億円で人口減少対策を!!
新年度予算に向け政策を考えます

を展開している今こそ、他の市町村に先駆けて積極的行財政運営をする必要がある。

合併時8億円貯めたいとした財政調整基金は今、32億円も貯まった。

この基金を活用して、①産業施策で雇用の創出と拡大が第一では。

町長 人口減少解決には雇用の創出と拡大が第一との考えは同じです。各産業分野において、国・県補助事業等を活用

し、町も随伴し支援する施策を検討します。さらに国の地方創生関連事業を有効に活用できる制度を関係機関、各種協議会の意見を聞き専門的に取り組みます。子育て施策については保育料のさらなる軽減を視野に、新年度予算に向け政策をつくり上げたいと考えています。



交通の利便性を図って香住病院へ通院！



寺川 秀志 議員

佐津診療所のあり方等について検討委員会の設置を検討はしますが、今直ちに検討しますと明言できません

佐津診療所は、創立以来幾多の閉鎖危機を乗り越え現在に至っているが、非常勤医師の奮闘にもかかわらず高齢化と人口減で患者数減に陥っている。地域の個々の役員さん

に聞いたところ住民の足を確保すれば香住病院への通院はかまわないとのことであったので、デマンドタクシーを導入し、香住病院へ運ぶそのような運営に地区民は、期待をもっている。方向性を示すため検討委員会を設置すべきだ。

佐津診療所に対する住民の声は、交通手段を確保すれば香住病院に通院できるとの意見もありますが、高齢者が増えるので、近くにあった方がいいなどの意見もあります。佐津診療所については地域の皆さんの利便性を損なうことがないよう検討する必要があります。検討しますが、今直ちに検討委員会の設置については明言できません。



ニュージーランド学生との交流（浜坂中学校での歓迎）



さぁ一緒に歩こう!!

歩く町で健康寿命増進を!! 活動の拡大に取り組みます



藤井 昌彦 議員

ウォーキングは、市民の健康寿命の増進、介護予防、社会保障費の削減

と持続可能な地域社会に役立ち、怪我や疾病のリスクハビリ、精神的ストレス解消、爽快感を味わうことができる。さらに、仲間づくり、コミュニケーション、スポーツツーリズムにも繋がる。お金もかからず、いつでもどこでも手軽にできる良いこ

とすぐめの歩くことを中心とした地方創生。町を挙げて取り組むべきと考えるが。

町長 本町では「今より10分多く体を動かしましょう」を健康スローガンに掲げ、運動教室、健康診断後の保健指導で

ウォーキング指導を実施しています。福祉課では、ノルディックウォークは、介護予防事業の一つとして位置づけ、生涯学習課、健康課との共同教室、元気体操サークル指導等、取り組みの支援を継続します。また、マップ、トイレ、休憩所、コース等、総合的な条件整備を図り、健康増進型、滞在型、リピータ型のツーリズム活動の拡大に努めます。

国際交流事業再開目指すべき 再開できるよう努力します



上田 勝幸 議員

中学三年生を対象に希望者を募り、広い視野と国際感覚を養うことを主眼に、夏休みの期間、生徒を海外に派遣、研修に精力的に取り組まれてきた歴史がある。

それが今途絶えている。残念なことだ。

今、世界はグローバル化が進み、政治・経済をはじめあらゆる分野で国際交流が必須のものになりつつある。かかるおり時流に遅れない、また世の役に立つ人材を育成するためにも、国際交流事業の再開を目指すべきだ。

教育長 但馬でも国際化が進み、海外からの来訪

者が増加傾向にあります。また学校でも英語教育が積極的に展開されています。その応用として、海外での研修は意義あるものと理解します。再開に向けては、海外とのネットワークづくりが急務と考えます。町国際交流協会との連携を強化し、交流事業再開できるよう最善の努力はいたします。



ジオパークを泣かせないように



町が畜舎の建築を！



西坂 秀美 議員

県は牛の増頭に力を入れている。本町では増頭に向けて新しい施策を展

増頭、移住促進にどう取り組むのか 国県の補助事業等を活用します

開しているか。町が畜舎を建設し全国に公募する。研修は少頭飼の方の所、多頭飼育の所からノウハウを学んでいただく。

研修後は町の畜舎を利用していた。但馬牛の香美町を全国に発信し、さらに香美町の知名度アップ、そして移住の促進、

空き家対策にもつながる。それには今が最大のチャンスと考え積極的に施策展開すべきだ。

町長 香美町での畜産にあこがれる若い農業者は多いと考えます。しかし、新規就農には、畜舎等の整備や繁殖牛の導入

に係る初期投資に高額な費用が必要であり町による畜舎等を含む畜産団地整備を行い、貸し出すことで、新規就農者や増頭が図られるものと考えます。しかし、過去には第三セクターで畜舎を建設し破綻した事例もありますので、畜舎建設は行わず国県の補助事業等を活用しながら移住促進を進めます。

観光のために町は条件整備を 関係者と協議し対応を検討



山本 賢司 議員

の看板。これを撤去する対策をしなければ、この町の姿勢が問われる。

旅行業者は、さようなら、かすみ丸遊覧船、11月30日をもって運行終了とツアーを組んでいる。終了させてはいけない。猿尾滝の上段の滝つぼ入口に「立ち入り禁止」

教育長 かすみ丸の存続に向け関係機関、関係団体との協議をやり、複数の会社と交渉してきましたが、出資者があっても経営者がいないのです。空白期間が生じてても、継続できる条件づくりを検討していきます。

猿尾滝の下段の滝つぼ

への落石防止を行い、安全と考えます。上段への対策は、120m、1千万円と見込まれ、国定公園内の景観のため県の許可も必要です。猿尾滝は大切な資源であり、近隣の観光への波及もあり、地元の方の茶屋営業、トイレ等の管理など努力いただいていることもあり、関係者の意見、町のリスク等考え、整備できる時期が来れば対応します。

平成27年度全国ふるさと納税寄付金額

寄附金額 TOP 10

※2016年6月7日現在

順位	市町村名	金額
1	宮城県東城市	42億3,123万円
2	静岡県焼津市	38億2,548万円
3	山形県天童市	32億2,788万円
4	鹿児島県大崎町	27億1,964万円
5	岡山県備前市	27億1,569万円
6	長崎県佐世保市	26億4,760万円
7	長崎県平戸市	25億9,979万円
8	長野県伊那市	25億8,263万円
9	島根県浜田市	20億9,357万円
10	佐賀県上峰町	20億6,179万円
参考	兵庫県香美町	6,721万円

(千円単位四捨五入)

無限の可能性のあるふるさと納税制度

ふるさと納税制度を見直せ!! 町民、議会の意見を聞き見直します



森 利秋 議員

香美町のふるさと納税は①1万円の寄付につき1品目の「お礼品」を贈

呈。寄付回数、お礼品受取回数の制限なし②「お礼品」の数は13品目（昨年は5品目、3業者）となつてゐる。地方創生、香美町の活性化、農林水産、商工観光等全産業の活性化、1次、2次産業の6次産業化等の思いを込めて①1万円の枠をは

ずし、増額すべき。②「お礼品」は全産業から商品を募り、業者指定も改めるべきである。

ます。お礼品の品物を全産業から募ることにつきましても、寄付金額とお礼品の金額の見直しに合せて検討いたします。業者選定につきましては、お礼品は町の公金をもつて購入する形になっていきますので今後検討致します。ふるさと納税制度は町民の皆さまや議会のご意見を聞いて見直します。

木の駅プロジェクトの今後の展開は 実行委員会で運営できる体制を確立します



徳田喜代子 議員

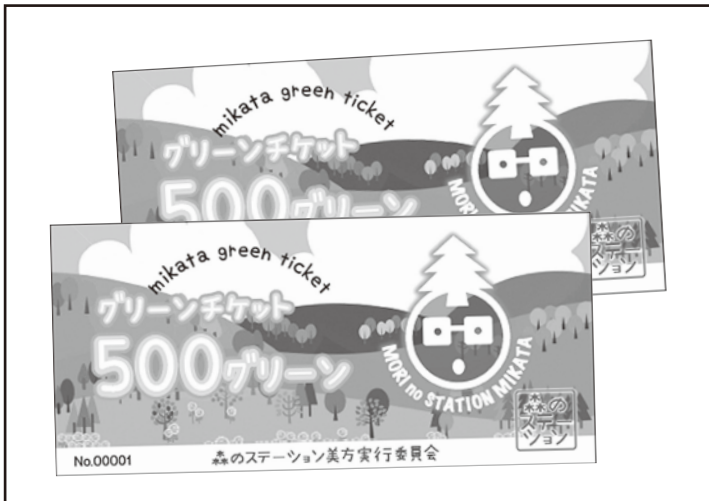
香美町総合戦略の具体的施策として、但馬で初の木の駅プロジェクト「森のステーション美方」がスタートした。間伐残材を木質燃料として有効活用するために個人

や団体が搬出し、地域通貨と交換することで、雇用を創出し地域活性化に繋がるものと期待されている。出荷者の登録や地域通貨を利用できる協力店の拡充等、プロジェクトに向けた取り組みと今後の展開を町長に伺う。

町長 平成26年度より専門家による研修会や先進地視察を実施し、森林組合や関係団体と実行委

員会を立ち上げました。町は今年の4月から地域おこし協力隊員1名を事務局に配置し、事業実施に係る初期経費は香美、新温泉の両町と森林組合で負担していますが、今後は実行委員会で運営できる体制を確立します。さらに、出荷者（42人）、協力店（24店）をもとに増やし、地域の活性化や森林の魅力の再認識が図れればと考えています。

地域通貨「グリーンチケット」





地域の活性化施策に期待！

香美町総合戦略に定める「時代にあった地域づくり」についての具体的な



田野 公大 議員

新しい地域コミュニティとは？ 組織のあり方や枠組みを考え構築します

施策について問う。

- ① 小さな拠点とはどういう地域を想定しているか
- ② コミュニティセンターとはどういうものか
- ③ 地域コミュニティ組織とはどんな組織か、また既存の組織との関係は
- ④ 新しい地域コミュニティ構築にあたっては、

地域住民主体で進めるべきではないか。

町長 人口減少や高齢化が進み地域の弱体化が懸念され、その対策に取り組むこととしています。

- ① 公民館や小学校区など、集落の連携を念頭に住民の合意形成を最優先に検

- 討を進めます。
- ② 集落間の連携や地域づくりなどを進める拠点施設です。
- ③ 集落機能を補完し合う枠組みを既存組織との連携も含め進めます。
- ④ 地域住民や既存組織と一緒に協力を進めます。



ドローンを使用する防災訓練（京都府総合防災訓練）



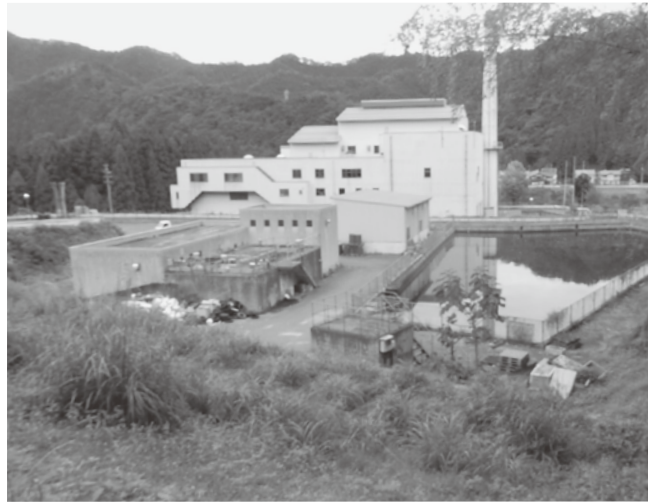
橘 秀太郎 議員

香美町の今後の防災対策は 今後も防災強化に努めます

入れているのか。

町長 いつ起こるかわからない災害にどう備えるかが、今後の課題だと考えます。また、他自治体との連携が必要になるような災害の経験がないため、連携が機能するか不安ではありますが、既存の連携協定や在宅者の訓練も含めて防災強化に努めていきます。ドローンの活用については、ど

ういう活用ができるかも含めて今後検討していきます。



徹底した安全管理が求められる矢田川レインボー最終処分場

処理水の矢田川放流直ちに中止を!! 基準下回る放流は問題ありません



谷口 眞治 議員

①4月から「クリンパーク北但」の焼却灰を今後5年間受け入れる

が、どんなものをどれ位か。②異常な処理水が発生していないか。③矢田川レインボー開設当初から「矢田川に放流しない」約束の処理水の4月からの対応は。④3月までのダイオキシン等に汚染している煤塵である飛灰の埋め立てに問題ないか。

⑤問題ある処理水放流は直ちに中止を。以上問う

4月から焼却施設を廃止したので矢田川に放流しています。説明は長井地区の区長だけで、下流の住民には説明していません。④飛灰は薬剤処理しているの、埋め立てに問題ありません。⑤安全基準を下回るものであれば直接放流は問題ありません。下流域住民の説明を含め早急に検討します。

嘱託、臨時職員の雇用延長を

本年より運用にて実施しています



岸本 正人 議員

条件のなかで、実質的に長年勤務されている。そういう方にも希望されれば、年金受給年齢までの雇用確保をするべきだ。いわゆる条例・規則等で定めるのが厳しければ、実態的にでも雇用延長を確保するべきでは。

ととしております。非正規職員につきましては27年度中に60歳に到達する方より、年金受給年齢までの雇用延長を実施しております。この制度は条例内部要綱等ではなく「運用」として定めています。



ガンバル職員のように

町の正規職員には、年金受給年齢までの再雇用する条例がきている。しかし非正規職員の60歳後のいわゆる再雇用については条例等がない。正規職員よりも厳しい雇用

町長 正規職員の再任用制度は、平成25年度より実施しており、年金受給年齢まで勤務できるこ

その他こんな質問もしました

質問議員	質 問 項 目	質問議員	質 問 項 目
寺 川 秀 志	1. 防災・減災Ⅰについて 2. 防災・減災Ⅱについて 3. 空の駅へのエレベーター設置と観光客2割アップについて	山 本 賢 司	1. 県地域医療構想は、住民に医療への不安を増大させる 2. 社会保障改悪で負担増と給付減、くらしが維持できなくされる 3. 村岡区内の3保育所のあり方、どうするのか
見 塚 修	町に活力と安心・安全を取り戻すための具体的施策について伺う（Part13） 活力編 1. 町長公約の積極的町政の展開の具体策について ・ふるさと納税制度について 安心・安全編 2. 今年度の防災訓練について伺う	森 利 秋	1. 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税） －企業で地方創生－について問う
上 田 勝 幸	1. 町道「余部・御崎線」について	徳 田 喜 代 子	1. 森林再生～木質バイオマスセンターについて問う
西 坂 秀 美	1. 総合事業について	岸 本 正 人	1. 空家対策・人口増対策としてのIUターンの取り組みについて 2. 当初予算を補正予算にて減額あるいは除去することについて

議案の審議結果 ※賛否が分れた議案のみ掲載しています。

議 案 名			議 員 名															
			見塚修	森利秋	山森昭夫	藤井昌彦	上田勝幸	谷口眞治	西谷尚	西坂秀美	橘秀太郎	西川誠一	岸本正人	田野公大	寺川秀志	山本賢司	徳田喜代子	西村伸一
9月定例会	議案第78号	香美町農業委員会の委員及び香美町農地利用最適化推進委員の定数に関する条例を定めることについて	○	○	欠	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	—
	議案第79号	香美町税条例等の一部を改正する条例を定めることについて	○	○	欠	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	—
	議案第80号	香美町国民健康保険税条例の一部を改正する条例を定めることについて	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
	議案第81号	平成27年度香美町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	×	欠	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	○	—
	議案第83号	平成27年度香美町後期高齢者医療保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	欠	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
	議案第84号	平成27年度香美町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	欠	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
	請 願 2 号	若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める請願書	×	×	欠	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	—

○…賛成 ×…反対 欠…欠席 ※議長は採決に加わりませんので－で表示しています。

平成27年度政務活動費を報告します

香美町議会では、会派が実施する調査研究等に必要な経費の一部を政務活動費として交付しています。この政務活動費は、条例に基づき、議員1人当たり月額5千円が会派に対し支払われます。平成27年度は、3つの会派が政務活動費の交付を受けて活動しましたので、その収支について報告します。

政務活動費収支一覧表

会 派 名		日本共産党香美町議員団	清 流 会	新 風 会
所 属 人 数		2人	5人	4人
所 属 議 員		山本 賢司、谷口 眞治	西谷 尚、橋 秀太郎、田野 公大 西村 伸一、藤井 昌彦	見塚 修、山森 昭夫 上田 勝幸、西坂 秀美
支 出 額 内 訳	交付額（a）	120,000 円	300,000 円	240,000 円
	調 査 研 究 費			223,140 円
	研 修 費		186,690 円	
	広 報 ・ 公 聴 費		23,851 円	
	要 請 陳 情 等 活 動 費			
	会 議 費			
	資 料 作 成 費			
	資 料 購 入 費	62,469 円	5,246 円	
支 出 額 合 計	支 出 額 合 計（b）	62,469 円	215,787 円	223,140 円
	町 へ の 返 還 額（a）－（b）	57,531 円	84,213 円	16,860 円
政 務 活 動 費 を 使 っ た 主 な 活 動		資料購入：活動のために必要な図書、資料等を購入	研修：①旧校舎を活用した町づくり、観光・防災Wi-Fiステーション（滋賀県豊郷町、京都府南丹市）、②セミナー参加（2回、延5名）人口減少、地方自治ほか 広報・公聴：①座談会（2回）空き家対策ほか、神山プロジェクト 資料購入：活動のために必要な図書、資料等を購入	調査：①学校支援から地域創生、小さな拠点づくり、新たなコミュニティの取り組み実践（高知県南国市稲生地区）②農村地域の活性化のため、都市の若者に農業・農村再生の担い手を促進（福井県若狭町、かみなか農業舎）③県主催「海洋エネルギー資源開発促進講演会」

この人、ここにあつ

(村岡区)



中村 将志さん

今回は、村岡区熊波地区で、地域おこしグループとして頑張っておられる「シャクナゲ会」の代表、中村将志さんにお話を伺いました。

「シャクナゲ会」の名称の由来と目的は

美しい熊波溪谷に咲く「石楠花」のように、明るい地域にしよう、お年寄りに楽しんでもらうイベントを企画運営しよう、それが過疎・高齢化対策にもなるのではない、平成14年に結成しました。



熊波のはす池

現在は、どのような方が参加されていますか
地区在住の40代〜60代の15名が会員です。男女比はほぼ半々です。

どのような活動をされていますか
2月には、お年寄りをメインに区民を招待して「芸能発表会」を開きます。4月には、春のお花見会を開きます。5月には、区内の県道添いに花



グループメンバー（芸能発表会）

植え、中心地の休耕田約8アールを利用して整備したはす池の手入れと、開花調整をして、お盆に開花するようにして見物客に楽しんでもらいます。区民全体のグランドゴルフ、囲碁ボール大会などを行います。

活動が報われたと思うことは
過疎・高齢化が進んでいましたが、近年若者の



4月の花見

Uターンが多くなってきたと感じます。私たちの活動が、少しは明るい地域となりUターンに役だっているのではと「勝手に」思っています。喜んでいます。

これからの活動は
発足以来14年が過ぎました。この会を自分達も楽しみつづけて、次世代へ引き継いでもらいたいと思っています。

編集後記

運動会、秋祭り等各地域行事や稲の刈り取りもやつと終わり、少しさみしいような秋を感じる頃となりました。夏の猛暑、秋の長雨と異常気象ではなかったかと思えます。小さな農業を営む私にとっては、「明日があるさ明日こそ」「来年があるさ来年こそ」と思い日々過ごしております。今年の冬にはスキー場に雪があることを願っています。その中で思いまかせぬことが多くありますが、町民のみならずとも、市民のみなさまにと進みたいと思います。

広報公聴常任委員会

委員長 藤井 昌彦
副委員長 徳田喜代子
委員 上田 勝幸
谷口 眞治
西谷 尚
岸本 正人
田野 公大